

本時のねらい

比べるものの共通点と相違点を明確にするために、ベン図を利用して整理し、友だちに伝えることができる。

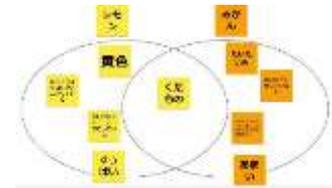
本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ジャムボードの付箋を使うことで自分の考えを簡単にベン図にまとめることができる。
- ・グループ内での発表時に各々の考えを瞬時に共有することができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・電子黒板
- ・ジャムボード

ベン図



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (8分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時のふりかえり、めあてを確認する。</li> <li><b>めあて「どこを比べるか考えよう」</b></li> <li>レモンとみかんの違いを参考に、比べる観点を整理する。 (色や形、味や皮の様子など、比べる観点についても考えさせる)</li> <li>・教員のベン図をスクリーンに示しベン図に児童の意見を貼り付け、後の作業の見本になるようにする。【写真1】</li> </ul>	
展開 (32分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分が選んだ二つのものの同じ所と違う所を考えて、ベン図に書く。</li> <li>・自分が選んだものを比べるために特徴を考えさせる。</li> <li>・ジャムボードのベン図に、それぞれの特徴について付箋に書き込ませる。</li> <li>○グループの中で順に発表し、アドバイスをし合う。</li> <li>・発表者が気付いていない項目や根拠が明確ではない項目がないかなどを考え、アドバイスさせる。【写真3】</li> <li>○アドバイスをもとに見直し、ベン図を修正する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとのジャムボードに予めベン図を貼り付けておく。【写真2】</li> <li>・ジャムボードの付箋を使うことで、一方の特徴を挙げ、もう一方を考えたときに共通することならば共通項へ移動させることができる。</li> <li>・共通点、相違点が視覚的にわかりやすく整理されているので発表時、相手に伝えやすい。</li> <li>・付箋機能を使うことで、簡単に修正や追加ができる。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のふりかえりをする。</li> <li>・ベン図を使って共通点と相違点をわかりやすく整理することができたか、ムーブノートを使って振り返りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ムーブノートを使うことで、ふりかえりを共有し、次時への発表につなげる。</li> </ul>

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】レモンとみかんの違いを参考にしながら観点を整理している場面



【写真2】二つのものの同じ所と違う所を考えて、ベン図に書きこみ考えている場面



【写真3】グループの中で順に発表し、アドバイスをしあっている場面

児童生徒の反応や変容

- ・ベン図を使うことでワークシートやノートに書くよりも作業がしやすく、その分考える時間がとれるようになった。
- ・共有時に同じ画面を見ることで友だちが考えたことがわかりやすく、間違いや気づいていないことなどを伝えてあげることができた。
- ・アドバイスをもらったことをすぐに自分のベン図に反映させることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ジャムボードを使うことで、ベン図に共通点と相違点を明確に理解して分ける作業が容易になった。また、グループでの共有もしやすく、視覚的にもわかりやすいため、互いにアドバイスを出し合うことに役立った。今後はよりわかりやすい図にするために、項目に合わせて色を変えるなどの工夫を考えさせたい。
- ・今後もジャムボードなどでシンキングツールを使って文章を書くための材料づくりを行い、自分の考えをより上手に相手に伝えるための学習を継続する。